

令和8年度 札幌市立北野台小学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：25506

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇朝の活動で「漢字」「計算」の時間を設け、学校として継続的に取り組むことにより、確実な基礎・基本の定着につなげることができた。</p> <p>◇12月に実施した児童アンケートの結果からも、提示された課題について、意欲的に自己解決に向かうことができているといえる。</p> <p>◇たてわり活動であるスマイルタイムを通して、異学年同士が互いを大切にしながら、主体的によりよい活動を目指すことができた。</p>	<p>◇研究授業後の話し合いからも難しい問題に直面すると、挑戦する気持ちが減退する児童が少なくないのが大きな課題といえる。</p> <p>◇全体交流では互いに考えを発表する場にとどまり、見方や考え方を広げたり、新たな価値に気付いたりするまでには至らないこともあった。</p> <p>◇学年に応じて学級活動における話し合い活動のねらいを明確にし、充実させていくことが必要である。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇「学ぶ」ことに対して素直に取り組み、意見の相違に関わらず、他者へ共感できる反面、自己肯定感が低い児童が少なくないのが現状である。体験を本物の経験とするための「失敗から学ぶ場」を創出するなどして、困難に立ち向かうたくましさを育成していくことが必要である。それと共に、自分を肯定的に捉えられるように一人一人の主体性を大切にしながら多様な学びの中で相互承認の感度を磨いていく。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力 自己肯定感を高め、主体的・対話的な学びの視点から、高め合う力を育成する。

課題探究的な学習の推進に向けて	自治的な活動の充実に向けて
<p>◇「全ての子どもが支え合い学び合う学び」を目指して、「主体的」「協働的」学びにつながる授業づくりを行う。</p> <p>◇主体的な学びを引き出すために、子ども自身の知識や経験、判断をもとに見通しをもち、追究への意欲が高まるよう、学習課題の設定や、教材開発、単元構成などの工夫する。</p> <p>◇「分からない」「教えて」「困っている」などの思いを表出できる環境をつくっていく。</p> <p>◇協働的な学びにつながるよう、グループ交流や全体交流で自分たちの考えを深めたり、広めたりすることができるよう「学び合いの場」を設定していく。</p>	<p>◇6年間を通して、自分たちの生活をよりよくしていくための力を養う。</p> <p>【低学年】・学級会等で「話し合う」経験を積み重ねる。</p> <p>【中・高学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科、総合的な学習の時間等で交流の場を設定するとともに、学んだことを表出する場を工夫する。 ・スマイルタイムを通して、リーダー性を徐々に養う。 ・CSを軸としたパートナー校との合同挨拶運動などの取組を継続していく。
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用とともに、教材・教具を見直し、学びの合理化を図る。 ・委員会活動やクラブ活動では、1人1台端末を活用するなどして、他学年と意見を交流し合うことで、よりよい活動を目指す。 	

<本プログラムの実行に向けて>

